

# 遠隔診断ツール

TNTmips で Web 用タイルセットを作成すると、作成者がいつでもタイルセットの整合性をチェックできるように遠隔診断ツールが自動的に提供されます。TNTmips で Web 用タイルセットを作成する際に HTML ファイルが同時作成されますが、このファイルには microimages.com の JavaScript ライブラリにある遠隔診断ツールへのリンクが記述されています。ブラウザの表示画面左上の角に隠れているボタンを左クリックすると、ツールがアクティブになります。Google マップや Bing Maps を使ってタイルセットを表示しているエンドユーザはこのツールを使うことがないため、通常ボタンは表示していません。このツールを使うと、タイルセット作成者はタイルセットのプロパティを遠隔的に調べることができ、タイルセットを Web サイトに配置した際やサイトを利用する時に起こった問題を調査できます。例えば、ズームレベルがなかったり、特定のタイルが抜けていたり壊れていたといった問題です。ツールを使って現在のズームレベルやタイルの座標、地図座標、個々のタイルのフォーマットなどの情報を調べることができます。マイクロイメージ社は、タイルセットの発行に使用する HTML 内にこの検査ツールへのリンクを保存しておくことを勧めています。TNTmips には「タイルセットのバリデート (Validate Tileset)」処理があり、タイルセット全体をスキャンしたり、よく起こる問題をレポートしたり、その問題を解決したりできます (テクニカルガイド「タイルセット: タイル構造のバリデート (Tilesets: Validate a Structure)」参照)。

ブラウザの表示画面左上の角にカーソルを置くと、一部透明のボタンが現れます。このボタンを押すとタイルセット診断ツールがアクティブになり、現在のズームレベルを示したツールチップが表示されます。

図 1

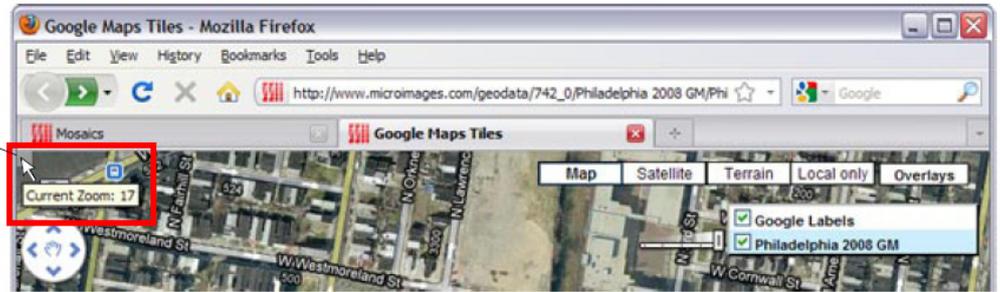


図 2



診断ツールボタンを左クリックすると、地図ブラウザの表示画面の上にスクロールパネルが表示されます。パネルには、現在表示しているタイルセットのプロパティが表示されます。

**タイルセットのプロパティ**

表示画面中央にあるタイルのズームレベルレベル (z)、タイルの行番号 (y)、タイルの列番号 (x)

表示画面中央の地図座標 (緯度と経度)

表示している領域内の最小および最大の緯度と経度

**タイルオーバーレイの一般的なプロパティ**

この例で示しているのは、JPEG と PNG タイルを有するフィラデルフィア市の正射画像タイルセット (マイクロイメージ社提供) と Google のラベルレイヤの値です。

カスタム正射画像タイルセットの JPEG および PNG タイルレイヤに関する項目。レイヤの作成に使用した TNTmips のバージョン (およびバージョンの日付) やレイヤの作成日、使用可能なズームレベル、タイル化されたデータの最小および最大の緯度・経度が記載されています。[Base URL] と書かれた Web リンクをクリックすると、タイルファイルを含んだマスタディレクトリの一覧が開きます。

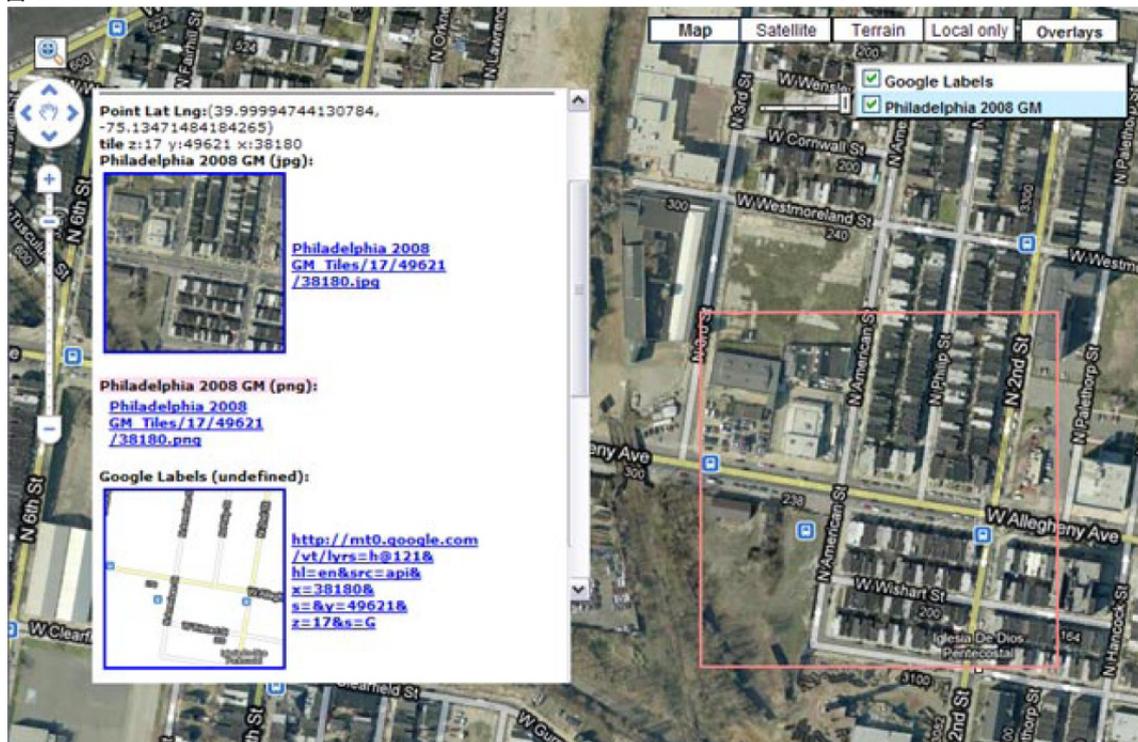
Google のラベルオーバーレイに関する項目

図 3



タイルの座標フィールドの値を変更して右側の [ タイルの選択 (select tile) ] ボタンを押すと、ブラウザの表示画面の中心を新たなタイル座標に移動できます。(入力方法は、説明の便宜上、「x」フィールドにおいて赤線で示した通り、ボックス内で左クリックして入力されている数字の右端にカーソルを置き (図 3a)、次にバックスペースを使って変更したい数字を削除して (b)、希望する値を入力し直します (c)。緯度および経度座標を変更して、[ 実行 (go) ] ボタンを押しても表示画面の中心を変更できます。

図 4



地図ブラウザの表示画面で左クリックするとタイルがカバーしている部分の境界線（図4の赤枠）が表示され、その位置で重なっているタイルを選択します。クリックしたポイントの地図座標とタイルの座標は、診断ツールのスクロールリストに追加されます（図4のスクロールリストで見えている一番上の部分）。その位置で重なっているタイルのサムネイルやレイヤ名、Web アドレス (URL) も一覧に追加されます。タイルが見つからないレイヤは、名前がピンクで強調表示されます。

表示されているタイルセットは、1箇所に1枚のタイルがあります。例で使用した正射画像タイルセットは JPEG および PNG の2種類のタイルで構成されているため、指定した位置のタイルはいずれかの形式のタイルファイルです。診断レポートには、該当し得る両方のタイルファイルの URL が表示されます。図4で実際に示した位置のタイルは JPEG ファイルであるため、サムネイルが一覧に表示されています。PNG タイルのレイヤ名は「見つからない」ことを示すためにピンクで強調表示されますが、だからといってタイルセットにエラーがあるわけではありません。位置を指定した際に正射画像タイルセットからいずれの形式のタイルも戻って来ない場合は、両方のレイヤ名がピンクで強調表示されます。

